

(第1面)

<p>産業廃棄物処理計画書</p> <p style="text-align: right;">2014年 6月 26日</p> <p>兵庫県知事 (篠山市長) 殿</p> <p style="text-align: right;">提出者 住 所 兵庫県篠山市郡家403番地4 氏 名 三井ミ-ハイト・メタル(株)篠山製造部 部長代行 難波 義幸 電話番号 (079)552-2141</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	三井ミ-ハイト・メタル(株)篠山製造部
事業場の所在地	兵庫県篠山市郡家403番地4
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
事業の種類	2351 銑鉄鋳物製造業(鋳鉄管, 可鍛鋳鉄を除く)
事業の規模	製造品出荷額1,686百万円(平成25年度実績)
従業員数	46名
産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		
(管理体制図) 別紙のとおり		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		
状	【前年度(25年度)実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 2011年10月より鑄造後パツ工程より砂再生装置へ送られる前に、自動選別機(マグネット式)を導入し、鉄分を回収しコドム廃砂量の削減をした。(削減量 約24t、1%) また、コドムを導入し、砂玉を破碎し砂を再利用化した。	
計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 鑄枠の改造による鑄物砂投入体積の削減の工夫を推進。 床面に砂をこぼさない作業改善の推進とこまめな清掃。(砂再生装置への投入)	
産業廃棄物の分別に関する事項		
現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 8種に分別し、スクラップ・電線・ダンボール等売却出来る物は売却して発生量の削減をはかる。	
計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記を徹底する。	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
状	【前年度（24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		別紙のとおり t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		別紙のとおり t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
状	【前年度（24年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		別紙のとおり t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		別紙のとおり t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
状	【前年度(25年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
状	【前年度(25年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		

計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 1.前年度取り組みの継続 2.溶解職場でのトリハ 解体後のインガ 再利用を検討し排出産業廃棄物の削減を図る。		
事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) 欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) 欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) 欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「 」を記入すること。
- 7 欄は記入しないこと。

廃棄物処理計画

(1) 事業の概要

資本金	4億9,200万円 (全事業所)
従業員数	46 (篠山製造部)
製造品出荷額	1,686百万円 (平成25年度実績)
製造概要フローシート	別紙 - 1
工場配置図	別紙 - 2
廃棄物発生フロー	別紙 - 3-1
連絡先	所属部署: 調達課 氏名: 中西 秀男 電話番号: 0795-52-2141 FAX: 0795-52-2144

(2) 計画期間

平成25年4月～平成26年3月

(3) 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

管理組織図	別紙 - 3-2
産業廃棄物処理責任者	中西 秀男
特別管理産業廃棄物管理責任者	難波 義幸

(4) 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

目標	生産量対比で前年排出量の1%削減
現状	年間排出量の98.3%が廃砂であり抑制の重要な対象である。 鑄物砂は、フラン樹脂と混練して循環装置により造型工程に送られ 鑄造後バリ工程で採取される。採取された砂は再生装置に送られ 再生処理がされ再び循環装置を経て製造工程に送られる。 この時摩耗により微粒化した砂のみ集塵機により採取され廃砂として 廃棄物となる。 又、作業中床にこぼれた砂も清掃により廃砂として廃棄物となる。 昨年、作業環境の改善により集塵機的能力をアップしたため廃砂が増加。
具体的取組	平成16年度キューホーより電気炉へ溶解設備を変更しレンガ屑等の削減を図る。 鑄枠の内部を改造し鑄物砂の投入体積を削減する工夫を推進。 床面に砂をこぼさない作業改善の推進。
教育研修制度	関係者・責任者のセミナーへの参加及び参加者による社内講習
中長期的課題	購入材料の梱包を再利用可能な容器に変更するよう材料メーカーに要請。

(5) 産業廃棄物の分別に関する事項

目標	材料梱包材・設備改修廃材の完全分別																								
具体的取組	各職場の環境委員による分別の指導を実施し保管場所を設け投棄している。 分別内容: 鉄屑、ゴム屑、ガラス・電球類、ビニール・プラスチック類、ダンボール類、 燃えるゴミ、溶解/刃鋸さい、土盤改良材用鋸さい、8種類に分別実施。 この内鉄屑のみ売却している。 今年度よりショット集塵機に鉄粉回収装置を設置し、廃砂量の削減を図る。																								
教育研修制度	関係者・責任者のセミナーへの参加及び参加者による社内講習																								
分別に係る情報収集管理	篠山市、商工会セミナーによる情報と交付資料による。																								
分別に係る施設の状況	コンクリート壁仕切による分別ヤードの設置、ドラム缶分別と分別看板の設置を実施。 <table border="1" data-bbox="456 1469 1078 1626"> <thead> <tr> <th>分別名称</th> <th>保管体積</th> <th>換算重量</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋸さい(土盤改良材)ヤード</td> <td>108m³</td> <td>約162t</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>鉄屑ヤード</td> <td>22m³</td> <td>約3t</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>ゴム屑ヤード</td> <td>5m³</td> <td>約500kg</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>ガラス・電球類ヤード</td> <td>0.2m³</td> <td>約200kg</td> <td>屋外</td> </tr> <tr> <td>ビニール・プラスチック類ヤード</td> <td>0.2m³</td> <td>約50kg</td> <td>屋外</td> </tr> </tbody> </table>	分別名称	保管体積	換算重量		鋸さい(土盤改良材)ヤード	108m ³	約162t	屋外	鉄屑ヤード	22m ³	約3t	屋外	ゴム屑ヤード	5m ³	約500kg	屋外	ガラス・電球類ヤード	0.2m ³	約200kg	屋外	ビニール・プラスチック類ヤード	0.2m ³	約50kg	屋外
分別名称	保管体積	換算重量																							
鋸さい(土盤改良材)ヤード	108m ³	約162t	屋外																						
鉄屑ヤード	22m ³	約3t	屋外																						
ゴム屑ヤード	5m ³	約500kg	屋外																						
ガラス・電球類ヤード	0.2m ³	約200kg	屋外																						
ビニール・プラスチック類ヤード	0.2m ³	約50kg	屋外																						
中長期的課題	分別した廃プラ類の資源化処理委託できる業者の模索。																								

(6) 産業廃棄物の再生利用に関する事項

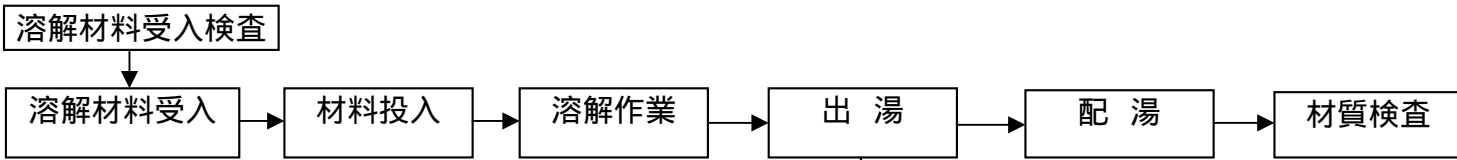
目 標	廃砂を土盤改良材リサイクル用として分別しその量を2%減とする。
具体的取組	鋳さい(廃砂等)は、溶解スラグ・土盤改良材用・埋め立て用に分別保管している。 現在砂回収設備ビット、ショット設備などより排出される廃砂の内床ゴミの混入していないものをリサイクル用に分別することを推進。
教育研修制度	関係者・責任者のセミナーへの参加及び参加者による社内講習
再生利用に係る情報収集管理	市商工会、関係企業、取引先等主催セミナーによる情報と交付資料による。
再生利用に係る施設の状況	リサイクル用廃砂保管ヤード(162m ³ /約243t)
中長期的課題	廃砂全てが再利用できる排出手段の推進。

(7) 産業廃棄物の処理に関する事項

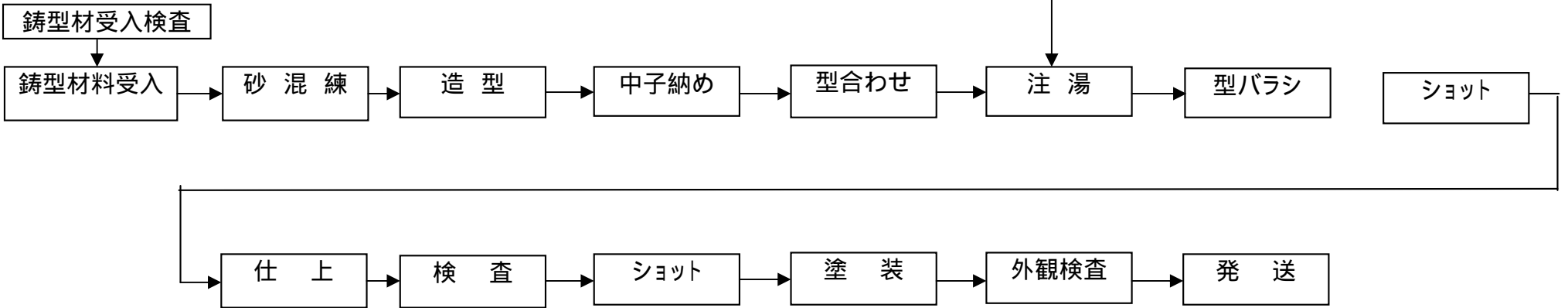
目 標	埋立用廃砂生産重量比前年比1%削減 埋立用廃プラ生産重量比前年比1%削減
具体的取組	埋立用廃砂について 1. 鑄枠内部の改造による投入体積の削減による廃棄量の削減。 2. オル-フロ-(床へのこぼれ等)砂の清掃回収による鑄枠再投入 又は、循環装置への再投入。 埋立用廃プラについて 材料梱包材の業者回収と再利用可能梱包材への変更要請の推進 分別推進によるリサイクル資源化をし廃棄量を削減。
教育研修制度	関係者・責任者のセミナーへの参加及び参加者による社内講習
廃棄物処理に係る情報収集管理	市商工会、関係企業、取引先等主催セミナーによる情報と交付資料による。
廃棄物処理に係る保管施設の状況	埋立用廃砂保管ヤード(54m ³ /約81t)
中長期的課題	廃砂の完全リサイクル化

製造概要フローシート

A. 溶解工程



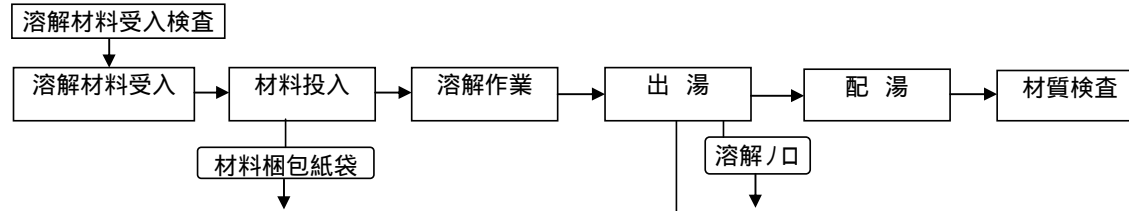
B. フラン自硬性鑄造工程



廃棄物発生フローシート

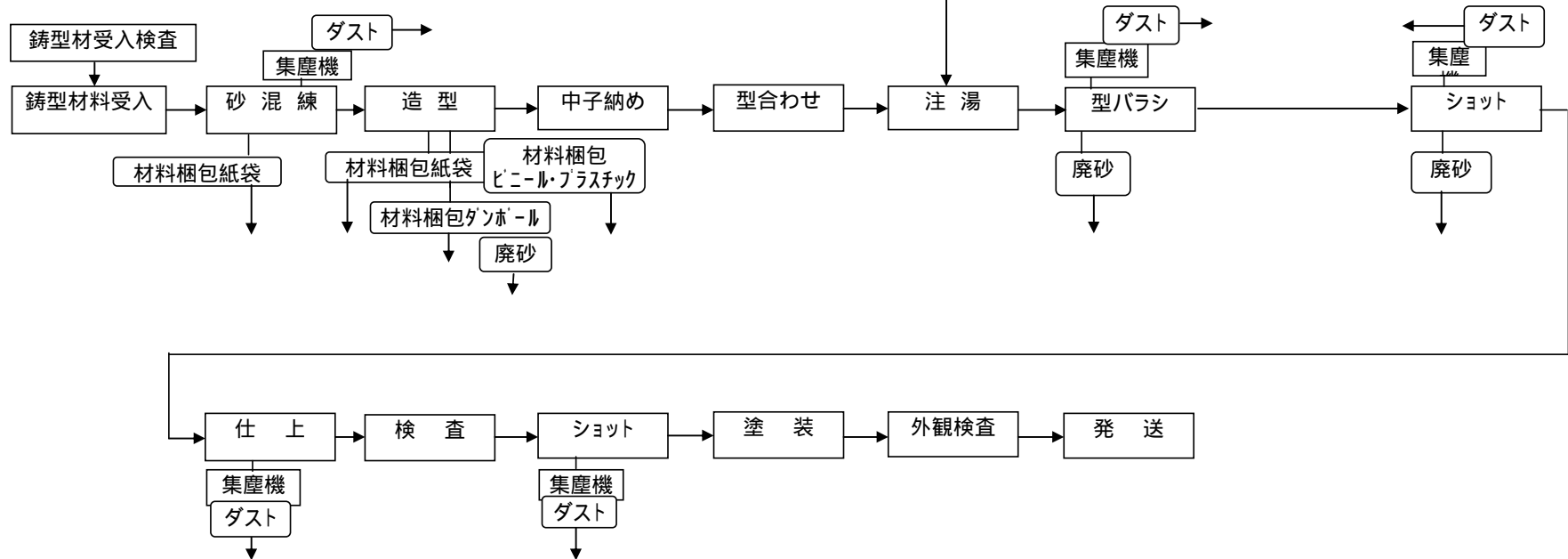
三井ミーハナイト・メタル(株)
篠山製造部

A. 溶解工程



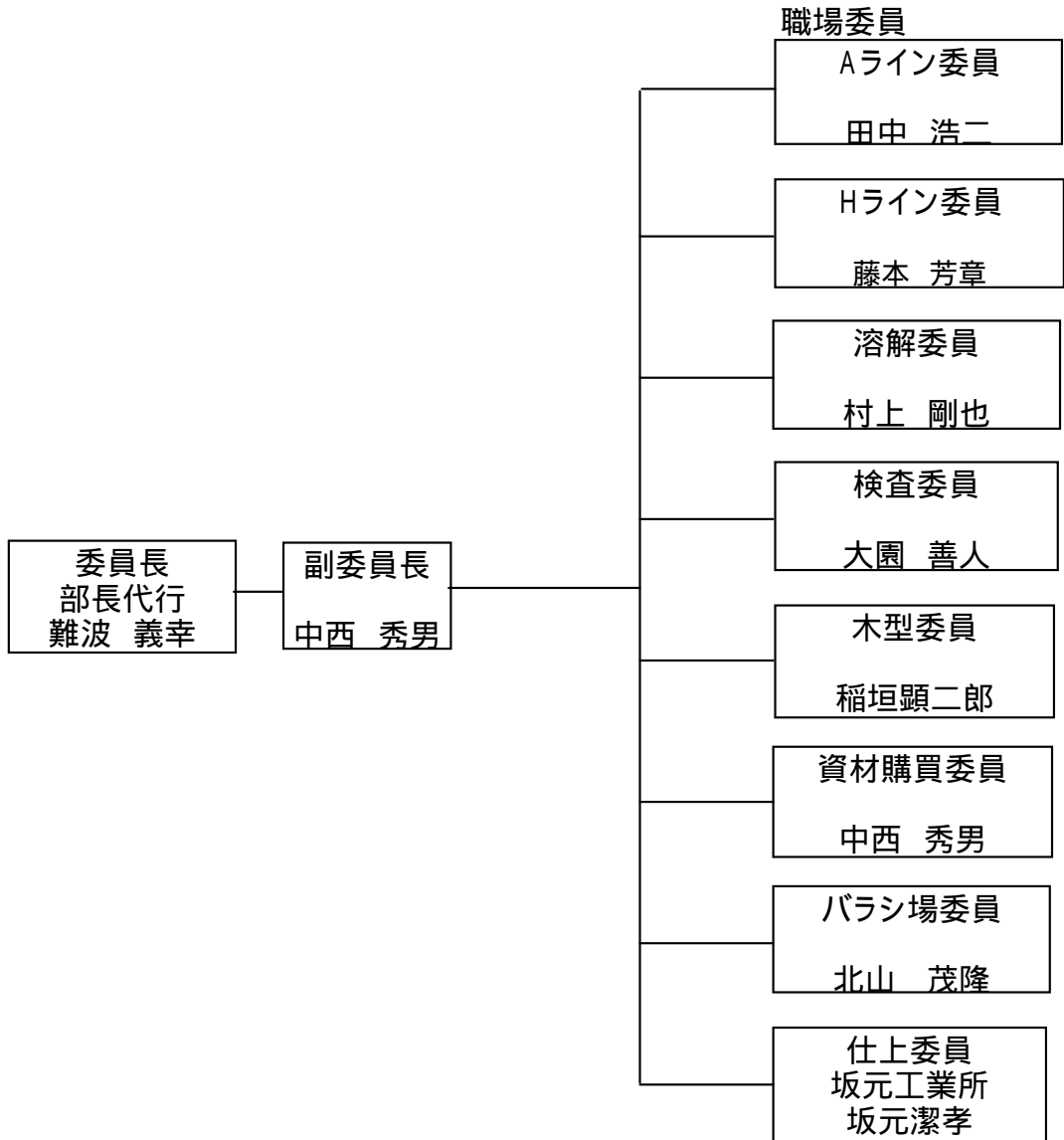
廃棄物分別保管場所	
鉍さい(ノロ)保管場所	
鉍さい(リサイクル用)保管場所	
鉍さい(埋立用)保管場所	
鉄屑保管場所・・・設備改修屑	
ガラス・電球屑類保管場所・・・設備改修屑	
ビニール・プラスチック屑類保管場所	
ゴム屑保管場所・・・設備改修屑	
ダンボール屑類保管場所	
燃えるゴミ置場	

B. フラン自硬性鑄造工程



産業廃棄物の処理に係る管理体制組織図

環境委員会



	産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		産業廃棄物の分別に関する事項		産業廃棄物の分別に関する事項		の中間処理に関する事項		埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		産業廃棄物の処理の委託に関する事項	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
鋳さい	1,826	1,808	0	0	0	0	0	0	0	0	1,826	1,808
廃プラ	64	63	0	0	0	0	0	0	0	0	64	63
廃油	1.62	1.6	0	0	0	0	0	0	0	0	1.6	2
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.005	0.005	0	0	0	0	0	0	0	0	0.005	0.005
木くず	0.001	0.001	0	0	0	0	0	0	0	0	0.001	0.001
PCB	0.000	0.000	0	0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000
計	1,892	1,873	0	0	0	0	0	0	0	0	1,892	1,873